

# ふれあい

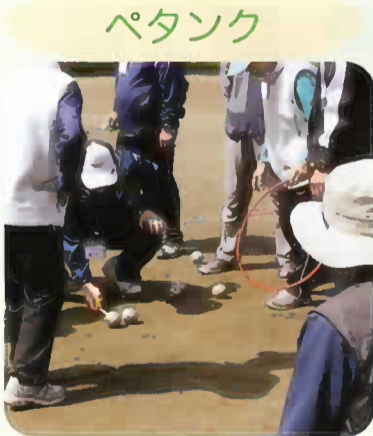
## 主な内容

- 1P. 三世代交流レクリエーション大会
- 2P. 平成31(令和元)年度 総会報告
- 3P. 私のふるさと・思い出
- 3P. 地域のイキイキさん・地域のわだい
- 4P. お庭拝見・健康コーナー
- 4P. 部会だより

●発行所/ひたちなか市長畑町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

## 第16回 三世代交流レクリエーション大会!!

6月16日、石川運動ひろばで体育部会主催の三世代交流レクリエーション大会が開催されました。前日の雨が上がり、グラウンドゴルフ・輪投げ・ペタンクの3種目が実施されました。各自治会より、小学生からお年寄りまで249人が参加し、団体戦・個人戦を楽しみました。



大会の参加料は無料で、参加者にはもちろん参加賞を進呈します。日頃より練習を積んでいるチーム・仲の良いグループ・近所の友達・ご家族など気軽に参加して、楽しい時間を過ごしていただければと思います。これからたくさんさんの参加をお待ちしています。



三世代交流  
レクリエーション大会

体育部会長  
川又 吉次

6月16日に石川運動ひろばにおいて、第16回三世代交流レクリエーション大会を開催しました。本大会は22回続けた高齢者レクリエーション大会を発展させ、三世代で楽しめる大会にしたものです。現在はグラウンドゴルフ・輪投げ・ペタンクの3種目を実施しています。いずれの種目も、事前の練習なしで当日会場にいられても楽しく参加できるものです。それぞれ奥が深いので、続けて練習するのも楽しいです。

体育部会の事業計画の都合から梅雨時期の開催となってしまう、毎年天候に気をもんでいます。参加者の日頃の行いが良いせいか、昨年同様今年も1日違いで荒天を避けられ、実施できました。





平成31(令和元)年度 一中地区地域のふれあいを広める会

総会報告

4月21日、1中地区コミュニティセンターで、市長はじめ多くの来賓を迎え、代議員・役員など69人が出席して、平成31年度定期総会が開催され、審議したすべての案件は原案どおり可決されました。また、本会理事を長く務められた原 健三氏・尾曲 六郎氏・渡邊 重行氏・大内 賢一氏が、昨年度限りで退任され、感謝状が贈呈されました。

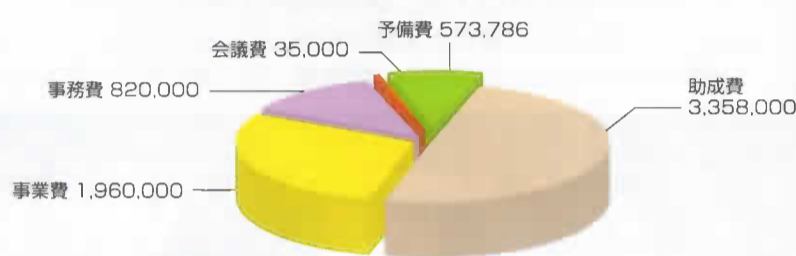
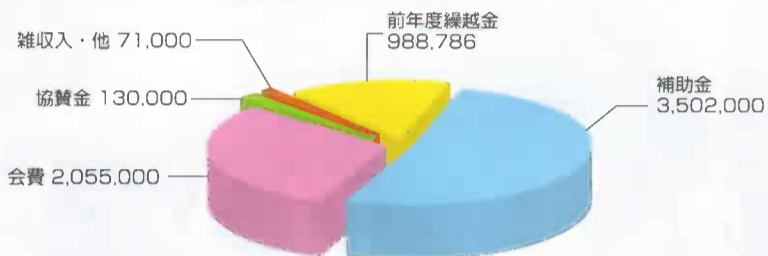
一中地区地域のふれあいを広める会(本会)

Table with 3 columns: 役員 (Officers), 事業 (Activities), and 職員 (Staff). Lists names and roles such as 会長 坂井久彦, 理事 自治会長・部会長・委員長, 4/21 総会, 11/30 ひたちなか市コミュニティ組織連絡協議会, etc.

歳入 ¥6,746,786

平成31(令和元)年度歳入・歳出予算

歳出 ¥6,746,786



平成31(令和元)年度事業計画

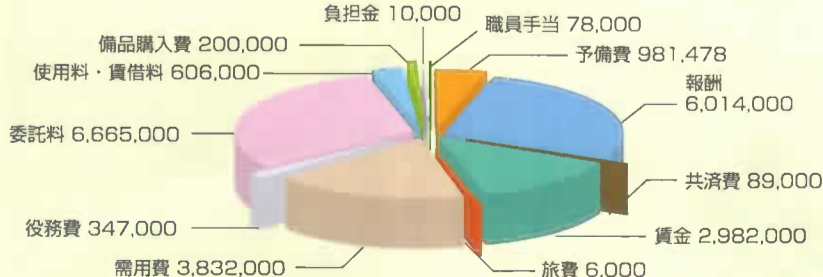
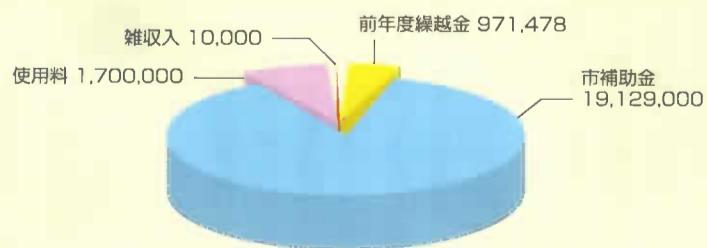
Grid of 9 boxes detailing activity plans for various committees: 地域部委員会, 実践部委員会, 広報委員会, 体育部会, 青少年部会, 環境部会, 福祉部会, 安全防災部会, 文化部会. Each box lists the committee name, budget, and specific activities.

※各委員会・部会の事業費は、本会からの助成費です。
※自治会ごとの事業内容は、各自治会からの案内をご覧ください。なお、各自治会長は以下のとおりです。
櫻木 幸男(勝田駅前南) 菊池 均(三反田) 坂井 久彦(大成町) 重田 政之(西中根) 山田 俊(中根) 池田 聡(大平) 大貫 英次(勝倉) 伊野 昂(東中根団地) 土田 良春(富士山) 佐藤 定男(薬師台) 桑原 武夫(長松) 関口 勝夫(金上) 川瀬 正紀(笹野)

1中地区コミュニティセンター管理運営に関する経費内訳

歳入 ¥21,810,478

歳出 ¥21,810,478



※詳しくはホームページで 検索は「一中地区 ふれあいを広める会」です。

### 地域のイキイキさん

#### 吟道仲間と豊かな人生



笹野自治会  
谷平 友子さん (88)

詩吟やお庭の手入れなどをしながらイキイキと暮らす友子さんのお宅を訪問して、お元気の秘訣をお聞きました。

中根生まれの友子さんが、笹野にお住いの谷平光栄さんと結婚したのは27歳の時。光栄さんは8人兄弟の4番目で次男でしたが、父親が早く亡くなり長男である兄も養子に出してしまったので、若かった光栄さんが家を守っていたそうです。

3人の子供に恵まれ忙しい日々を送っていた友子さんが40歳の頃、若い時から夜勤のある会社勤めをしていた光栄さんが体調を崩して入院し、胃を2/3取る大手術を受けました。少しでも体が楽になるかと会社を辞めて、自宅でお店(食料・雑貨等)を始めました。姑と近くに住む義理の姉に助けられて、光栄さんが亡くなる(友子さんが66歳の時)まで店を続けました。

光栄さんは絵が趣味だったので、まだ使っていない油絵具やキャンパスが残されました。捨てるのはもったいないと、油絵を始めたそうです。とても優しい筆づかいの友子さんの絵が10枚以上ありました。

そして、50年以上続けてこられたのは詩吟です。30代の頃、義姉に誘われて始めた詩吟は、今は月2回、自宅を教室にして先生と仲間たち10人位が集まります。「上手な人の詩吟を聴くのが楽しい。友達と刺激し合い、いろんな人と知り合えた。吟道仲間が良いところがあったら褒め合い、みんな仲良し。自分の人生が豊かになった」と語る友子さん。

いろいろご苦労はあったと思いますが、一言も愚痴は出ませんでした。お元気の秘訣は、**趣味の詩吟がある、仲良しの仲間がいる、そして何よりも前向きの明るい心だ**と分かりました。



友子さんが描いた油絵



吟道仲間と先生を囲んで

### 私のふるさと

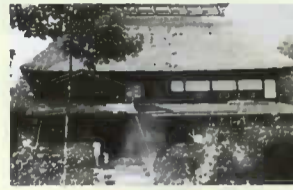
#### 十日町田戸地区

長松自治会  
増田 アヤ

私は90年前に、新潟県十日町仙田村にある60軒ほどの農家が集まる「田戸」という集落で生まれました。

子供の頃の思い出は、戦争の影がつきまといまいます。国民学校で出征兵士の家へ農作業の手伝いに行ったり、軍への供出のためにドクダミやイナゴをとったりしました。

その中で楽しかった思い出は、お手玉です。おひとつおろして おっしゅれ、おふたつ おろして おっしゅれ、おふたと歌いながら、一段二段と難しい技に挑戦します。放課後の教室で友達数人と夢中になってやっていたら、教頭先生に見つかり大目玉をもらいました。今から50年ほど前、姑の一大決心で十日町の家を売り、親戚



の住む勝田の松戸町に家族4人で移住しました。十日町の大字さん4人が家の敷地に小屋を建てて自炊しながら、今住んでいる家を建ててくれました。

現在、田戸地区には5軒ほどしか残っていません。ひたちなか市は気候も良く、とても住みやすいところです。新潟が大雪だというニュースを耳にするたび、50年前の姑の決断は良かったなと思います。それでも、ふるさと山や川、自然のあり様や子供の頃の思い出は温かく、懐かしいものです。

#### 勝田泉町に定住の頃

勝田駅前南自治会  
仲田 昭

太平洋戦争の末期から終戦後の混乱期にかけて、父は旧国鉄の駅長として磐城浅川・羽鳥・磐城石川駅を転々とした後、昭和24年に勝田駅長に着任。現在の市民交流センター辺りにあった鉄道官舎住まいとなった。私は父の転勤と共に小中学校を一年半から二年毎に転校していたが、最後に勝田中学校三年六組に転入した。

昭和25年には各地で労働争議が過熱し、企業側は人員整理で対抗した。勝田駅でも何名かに退職宣告辞令を手渡す大役を、父は負わされた。宣告を受けた数名がこれを不服とし、駅官舎に土足で上がり込み、囲炉裏に掛けてあったヤカンをひっくり返し、部屋中を灰神楽にして大暴れた。これを押し入れの中



当時の勝田駅

父は、子どもたちの誰にも国鉄に就職することを勧めなかった。その心境をやっと理解出来る頃には、父はすでに亡かった。

この頃の苦難の時期を乗り越えて、町は大きく発展するが、その中心に現在の勝田泉町があった。今後、ここが活力の源泉であって欲しい。

### 思い出

で、震えながらやり過ごしたことを思い出す。

騒動が一段落した頃、父は定年を待たずに退職して当時街はずれだった現在地に定住した。武田部落から踏み切りを通過して村松に通じる街道筋で、今でも県道として残っている。当時の地名は勝田町大字武田字大塚前と称した。

## 地域のわだい

### ひたちなが海浜鉄道雑感

大平自治会

大平自治会の区域には、ひたちなが海浜鉄道の「金上駅」があります。大平睦会の会員が駅構内に季節ごとに花植えを行い、駅利用者や乗客の目を楽しませ、快い気持ちで海浜鉄道を利用していただこうと頑張っています。

湊線が、昭和40年代をピークに利用者が減少し、平成20年に市が出資する第三セクターとして再出発できたことは幸いでした。

現在、新光町(国営ひたち海浜公園)方面への延伸が計画されていますが、整備に伴う乗降客数の見通しや費用負担などを心配する声もあります。将来にわたり大切な「市民の足」として、いつまでも海浜鉄道が走り続けてほしいと願っています。



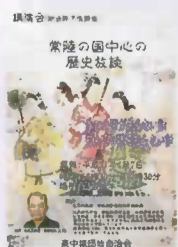
### 常陸の国中心の歴史放談 ～皆様が知っているようで知らない話～

東中根団地自治会 伊野 昂

自治会総会終了後に、講演会を開催しました。講師は伝統工芸士の桜井伯光さんです。

古代奈良時代の常陸の国(石岡)は親王任国\*とされ、国分寺が建てられて奈良から石岡までを古代東海道とされるなど重要な地域でした。

桓武天皇の曾孫高望王が平姓を賜り、その子国香が常陸の国の大掾\*\*に任ぜられました。国香は甥の平将門に討たれますが、国香の子貞盛が将門を討ち、貞盛の一流が伊賀に根拠を作り、この伊賀平氏から平清盛が出ました。これは常陸の国が「平家一門発祥の地」であることを示しています。貞盛の子孫の一流から鎌倉幕府の執権、北条一族も出自しております。



\*親王任国シンノウニンゴクは親王が国守を任ぜられた国で、常陸国、上総国、上野国の3つ。親王任国の守である親王は太守という。

\*\*大掾ダイジョウは地方行政官である国司の役職で、4等官シトウカン(守カミ・介スケ・掾ジョウ・目サカン)の内の一つ。大國には特に大掾・小掾が置かれた。

### 地域の皆様とともに

～中根太鼓～

中根小学校

中根小学校の特色の一つに「中根太鼓」があります。これは、総合的な学習「達人に学ぼう」の時間に5年生全員が取り組んでいるもので、和太鼓の達人から伝承技能を学んでいます。児童がとても楽しみにしている学習の一つです。

毎年「三宅島太鼓」を中心に技術や心構えを学び、さらに篠笛や櫓太鼓、時には踊りを加えながら、学年児童の雰囲気合った楽曲を全員で創り上げていきます。

その演奏は、敬老会や市の音楽祭・学校のお祭りである「中根フェスティバル」等で披露され、保護者や地域の方々へ太鼓で感謝の気持ちを伝える機会となっています。



# お庭拝見 大成町自治会

さわやかな晴天の下、丹精込めたお庭を訪ねました。(田山さん宅)

バラのアーチをくぐると...



バラの名前はアンジェラ



色鮮やかな花たちがお出迎え！  
羽が開いたような花はホルデュームジュバタム



花の小径  
青い花はシノグロッサム、白い花はオルレア



クレマチス  
花言葉は「精神の美」



庭仕事の合間に、お茶で一息

## 健康コーナー

### 南部おとしより相談センターとは

センター長 平川 知子

みなさん、こんにちは。今日は、おとしより相談センターの紹介をさせていただきます。

おとしより相談センターとは地域包括支援センターの通称名であり、市内には4つのセンター（南部の他・西部・北部・東部）が設置されています。南部おとしより相談センターは金上ふれあいセンター内にあり、担当している地域は、みなさんがお住まいの勝田一中学区と大島中学区です。

おとしより相談センターは、65歳以上の高齢者の「総合相談窓口」として、高齢者の生活を総合的に支えています。様々な相談内容が寄せられるなか、高齢者自身の意思を尊重しながら、対応・支援を行っています。多様な・複雑化する相談に対応していくため、おとしより相談センターには、**保健師等（看護師を含む）**・社会福祉士・主任介護支援専門員が在籍し、それぞれが専門性を生かして連携し、チームとして介護・福祉・医療・保健に関する相談対応を行っています。

**保健師等は健康面の相談支援や虚弱高齢者への支援・介護予防に関する相談支援を行います。**社会福祉士は高齢者が安心して暮らせるような様々な権利を守り、また虐待の早期発見に努めています。また、成年後見制度の紹介等や消費者被害防止等のための啓発活動も行っています。主任介護支援専門員は、介護保険サービスやケアプランに関する相談支援や地域の介護支援専門員への支援を行っています。

また、おとしより相談センターには前述の3つの専門職の他**認知症地域支援推進員**が配置されており、**認知症の方とその家族の相談支援、地域で支える仕組みづくり、病院や介護施設・地域にある様々な支援団体との連携、認知症への理解と知識の普及を目的とした認知症サポーターの養成等**を行っています。

私たちは、おとしより相談センターをより身近に感じていただき、介護・福祉・医療・保健に関する困りごとを地域の方や家族の皆さんと一緒に解決していきたいと考えています。まずは気軽に「介護の申請をしたいけど、どこに相談したらよいかわからない」「最近物忘れがひどくなってきた」「介護サービスの利用方法がわからない」等、ご相談ください。

〒312-0022

ひたちなか市金上562-1

(金上ふれあいセンター内)

☎ 0299-135415221



## 安全防災部会

6月18日、32人参加の視察研修で新宿区にある東京消防庁「消防博物館」を見学した。「消防自動車の変遷」「消防の変遷」等、江戸時代から現代までの道具やジオラマ等を見ながら説明を聞き、消防の歴史を詳しく学んだ。江戸時代の、建物を破壊して延焼を食い止める消火活動に対して、現代の消火機器や組織の発展には頼もしさを感じた。



## 文化部会

6月7日、30人が参加して青山にある根津美術館を見学した。この美術館は、東武鉄道の社長等を務めた実業家が集めた日本・東洋の古美術品コレクションを保存し展示している。めったに見ることのできない美術品ばかりで、東京の一等地にある広大な日本庭園も素晴らしい。楽しい一日を過ごすことができた。



## 青少年部会

5月15日、地区内小中の校長先生を含む部会員55人が出席して「笑顔いっぱい みんなで育てる地域の宝」を目標に総会を開催した。今年度は、従来の事業の中で、親子わくわく事業の新しい計画が提案され、議決した。ワクワクする内容がまもなく発表予定。乞うご期待！



## 部会だより

### 体育部会

4月21日、那珂湊運動公園において第43回一中地区ソフトボール大会が開催された。平成最後の大会には、8チーム129人が参加して予選リーグ・決勝戦が行われた。決勝は白熱した投手戦が展開されたが、勝田駅前南が二連覇を果たした。成績は次の通り

- 優勝 勝田駅前南
- 二位 富士山ストロンク
- 三位 中根ダイヤモンド



### 福祉部会

中根にある特別養護老人ホーム「はまぎくの里」の喫茶ふれあいサロンに毎月2回、第2・4金曜日の午後、ボランティアとして2人ずつ当番で参加している。コーヒーマシナ・紅茶等飲み物の準備の手伝いや、入所者・デイサービスの人達との語り合いを通して、心豊かな時間を過ごしている。



### 編集後記

令和を迎えてこの広報紙にも新しい風を吹かせようと、長い間掲載してきた「あれや・これや」「私の楽しみ」を、「私のふるさと」「思い出」「地域のイキキキさん」に模様替えし、また地域の皆さんに役立つよう「健康コーナー」を新設しました。これからも、心に残る広報紙を目指して頑張りますので、ご意見等をお聞かせください。

#### ◆ 広報委員 ◆

- 委員長 横山 恵美子
- 副委員長 有賀 正記
- 副委員長 伊藤 昇
- 菊地 恵子 荒木 とも子
- 吉木 一美 馬場 丈夫
- 磯 春雄 小坪 三千代
- 堀江 博志
- モーター
- 大関 清見 部 恒朗